

タイで金属石鹼委託生産

現地企業 などと提携 日本品質で需要獲得

大日化学

大日化学工業（大阪府東大阪市）は、東南アジアで金属石鹼の事業を強化する。今月中旬に専門商社の昭和興産タイ子会社、タイの薬剤メーカーと業務提携を締結する。タイのメーカーが生産し、技術供与した大日化学が品質保証を担当、昭和興産のタイ子会社が東南アジアなどで販売する。金属石鹼を主体としたマスターバッチ（MB）の生産も手がけ、小ロットにも対応する。日本品質の製品で東南アジアのプラスチック需要を取り込み、現地生産を早期に月100ト規模に引き上げる。

早期に月100ト規模へ

大日化学工業は、樹脂や錠剤の成形時の滑剤や離型剤として使われる金属石鹼をはじめ、脂肪酸滑剤、ワイヤーなどの伸線加工用滑剤を扱っている。

今回、提携するのは大日化学と昭和興産タイランド（バンコク）、フォルクサオーカニックケミカルインダストリー（FOCI）、サムットプラカーン）の3社。FOCIは大日化学と同じく伸線加

導して未反応物が少ない日本品質の製品の製造を実現した。

工用滑剤が祖業で、パンプ工業団地に工場があり従業員は約70人。テクニカルな製品が事業の2本柱。ISO9001および14001のほかハラール認証も取得しており、金属石鹼はタイ国内で高いシェアを占めているという。

ステアリン酸カルシウムやステアリン酸亜鉛など、大日化学が日本で製造しているグレードをFOCIで生産する。昭和興産タイランドが在庫管理し、タイを中心に東南アジアに進出している日系ユーザーに供給する。大日化学が品質保証した低コストなFOCIの既存ブランドも要望に応じて日本に輸出、大日化学が販売する。

脂肪酸やポリエチレン

などのワックスと複合化したMBも手がける。大日化学は海外のユーザーには輸出していたが、小ロット案件は採算が合わず対応していなかった。FOCIでは100kg以下の小口からMBの生産を受注する。MBの粒径は

数分目から数十分目まで対応できる。16日に現地で調印するFOCIの設備で月間100トの金属石鹼を生産できる。大日化学は販売量に応じてライセンス料を受け取る。

金属石鹼は樹脂成形時の分散性や加工性の改善に貢献するだけでなく、成形品の見た目の風合いを整える機能もある。東南アジアで高まるプラスチック容器の要求品質に答えられるほか、FOCIはハラール認証も取得していることから、イスラム教徒の多い東南アジアの食品容器用途でも優位性を保てる。

当面は月産数十ト規模で推移する見込みだが、早期にフル稼働に移行させたい考え。需要増が見込めれば、さらなる増強も視野に入れる。